

## ▼人口のうごき

人 口 114,363人 (-21人)

男 54,842人 (-6人)

女 59,521人 (-15人)

世 帯 48,501世帯 (+36世帯)

平成23年11月末日現在

住民基本台帳登録数( )内は前月比

## ▼テレホンサービス

## ■市政だより

0897-53-1500 (常時)

## ■当番病医院

0897-58-2200 (常時)

## ■災害情報

0897-55-5551 (発生時)

## ▼編集後記

昨年の東日本大震災では多くの尊い命が奪われ、その深い悲しみは被災地だけでなく今もまだ日本中を覆っています。

「男はつらいよ」の寅さんがいたならば、津波被害のあった海辺のまちの鎮守の参道で初詣客を相手に「どうしたみんな元気なだせ。もうすぐ青い鳥が見つかるぞ!」と青い鳩笛でも売らんでしょう。そして、かつて一目惚れしたマドンナに「寂しかっただろう、一人ぼっちでな。もう俺がついているから大丈夫だ」と、格好良くキメるんでしょう。

がんばろう! 日本。今年が笑顔あふれる明るい年になりますように… (ま)



かつて金毘羅街道として多くの参詣客や旅人に利用された道筋に、このモダンな橋が架かり親柱の照明に明かりが灯された時、人々は新たな時代の到来を感じたのではないのでしょうか…



小松高校の校舎を見上げる市道中央線の小松川に架かる小松橋は、クラシカルな雰囲気漂う味わい深い橋です。

## ふるさと探訪

第77回 小松橋



橋長28・6m、幅員5mの鉄筋コンクリート橋で、愛媛の近代化遺産だけでなく、日本の近代土木遺産としても選ばれたその理由が分かるほど、照明が設置された親柱や欄干のデザインは意匠に富み、当時の型枠技術の高さをうかがい知ることができます。

小松橋が完成したのは大正15年2月。この年は、暮れも押し迫った12月25日に大正天皇が崩御し、昭和に改元された年でもあります。その後、自動車の通行量増加や経年劣化などに伴う修復工事が施され、平成元年に往時の美しい姿をよみがえらせています。



まさに小松橋は、大正・昭和・平成と、我が国が近代国家として発展を遂げた激動の時代に地域の人々の足元を支え続け、歴史の節目ごとにその記憶の足跡を残しつつ、今もなお現役で活躍しています。

## 西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

## No.77 ケアシノスリ (西条に飛来した珍鳥)

全長56cm、冬鳥として北日本に少数が飛来する、足が羽毛に覆われている北方系のタカです。西条では2008年1月に氷見蛭子の広い農耕地に飛来、上空でホバリング(停空飛翔)しながらネズミや小鳥を捕食していました。居心地が良かったのか、3月頃まで越冬し、多くの野鳥愛好者を楽しませてくれました。



撮影：十亀茂樹

## 広告欄

## 「笑いのチカラで介護予防」

包括一座と落語の集い

出演：上方若手落語家・笑福亭由瓶

1月24日(火)

水戸銭：無料

午前10時から 三芳公民館

午後2時から 壬生川公民館

主催：西条市高齢介護課 長寿いきがい対策係  
受託者：西条落語を聴く会

## 広告欄

医療保険が適用される  
訪問マッサージ無料お試し  
実施中!

対象となる方

●歩行困難

(年齢に関わらず)

●麻痺や拘縮などの症状

脳血管障害後遺症等、寝たきりの方・寝たきりを予防したい方

お電話でもお気軽にお問い合わせください。

0120-309-456

在宅療養マッサージ和み 西条市洲之内甲644

